

高砂小

2022年12月

藤沢市立高砂小学校学校運営協議会

高砂小学校・高砂小学区 PTA 本部代表委員

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご支援をいただきましてありがとうございます。本校は、昭和39年の開校から59年目になります。今年度、辻堂地区で初めてコミュニティ・スクールとなり、高砂小学校学校運営協議会を発足しました。地域からも委員として会議に加わっていただき、よりよい学校づくりをめざして、取り組んでいます。

○学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）とは

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは、保護者や地域の皆さんが一定の権限と責任を持って学校運営について参画する仕組みです。藤沢市では、保護者や地域の方が学校の応援団として、学校運営に参画することを目指しています。

市教育委員会では、コミュニティ・スクールを2021年5月からモデル校2校に設置し、22年5月には市内13地域に1校ずつ設置しました。26年度までに、全ての市立小・中・特別支援学校に設置することを目指しています。

※ 藤沢市学校運営協議会制度説明資料参照

○「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて

これからの教育課程の理念

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていく。

<社会に開かれた教育課程>

- ① **社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。**
- ② **これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいくこと。**
- ③ **教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。**

※文部科学省HP 「社会に開かれた教育課程」より

○高砂小学校学校運営協議会の方向性

協議会の中で、話し合いを重ねてきました。委員からの意見を踏まえ、次のような点を意識しながら取り組んでいく予定です。

- ・地域の特性を生かす。地域に開かれた学校であること。
- ・子どもたちをどう成長させるか。
- ・地域の大人は、子どもたちの成長を楽しむ。子どもたちをのびのびと育てるように支援していく。
- ・コミュニティ・スクールの活動では、アクティブラーニングを積極的にしていくこと。つまり、学習＝ならう勉強（免許を持つ教員の指導）に対して、アクティブラーニング＝学ぶ勉強（お手伝いを地域の方などをお願いする。人とのコミュニケーション力も養いながら、体験しながら学ぶ。）その中で、子どもたちに、いろいろな人とかかわることのよさに気づいてほしい。
- ・大人は、教育的価値のある、子どもに大切な活動を計画していくことが重要である。
- ・今年度の試みを参考に徐々に取り組みを重ねていく。すぐ結果を出そうとあせらない。

○2022年度の取り組み

まず、1年目の今年度は、本校のことを地域のみなさまに知っていただくことから始めることにしました。

① 学校の概要

2022年12月1日現在、児童数は590名、19クラスあります。来年度は、21クラスの予定です。放課後は3つの児童クラブにお世話になっている児童もいます。元気でのびのび、明るく素直な子どもたちです。

現在の校舎は、平成7年に改築され、オープン教室となっているため、教室の壁がないので、隣のクラスなどとの横のつながりを生かし学習活動を工夫して行っています。コロナ禍にあって、ソーシャルディスタンスも確保しやすい利点もあります。校舎の特徴を生かして、引き続き指導をしていきます。

② 児童学習発表

辻堂市民センターの掲示スペースをお借りして、子どもたちの作品展示を行うことを検討しています。授業で取り組んだ作品を中心に全学年の作品を入れ替えながらご紹介する予定です。展示が始まりましたら、お時間のある時に地域のみなさまにもご覧いただければ、幸いです。

また、11月30日には短い時間でしたが校内のアリーナで6年生の音楽発表を実施しました。保護者も含めて約40名の方が参観をしてくださいました。新型コロナウイルス感染症対策を行い、今後もこのような機会を設けたいと考えています。



【6年生ボディーパーカッションと高砂小学校の歌の発表】

③ ベルマークとテトラパックの回収への協力をお願い

本校ベルマーク運動「やどかりさん」が、集計作業などを担当しています。校内だけでなく、校外では、辻堂市民センターにベルマークの回収箱を置かせていただいています（正面玄関から入り右側の交流スペース内）。学校支援とともに、SDG s の取り組みとしても、身近でできることの一つです。地域のみなさまにもご協力いただいていることと思います。ありがとうございます。

今回、テトラパックの回収箱を本校職員玄関に平日8：30～15：30に新たに設置（正門を入れて正面）することになりました。牛乳パックなどのテトラパック回収にもご協力をお願いします。テトラパックもベルマーク同様に、ポイントにより、学校支援ができます。牛乳紙パックには、テトラパックでないものもあります。紙パックの記載をご確認の上、テトラパックをお持ちください。

【辻堂市民センター・ベルマーク回収箱】



【本校職員玄関前テトラパック回収箱】

洗って乾かしたテトラパックをそのまま入れてください。



テトラパックはこのマークがついています

④ おはようボランティア募集

長年、朝、正門前でお二人のおはようボランティアさんに、児童の横断を見守っていただいています。

ご自宅の前や近くで、また、犬のさんぽやごみ捨てる時など、児童の登下校を見守っていただける方を募集しています。防犯の面からも大きな力となります。藤沢市教育委員会に登録をしておの活動となりますが、ご都合のよい日時での参加でかまいません。子どもたちに「おはよう」「おかえり」の声かけをお願いします。

学校では、子どもたちのあいさつがあまりできていないのではないかと感じています。コロナ禍が続き、コミュニケーションの機会が全体的に減ってしまったり、マスクの影響

もあってか、なかなか 元気なあいさつが定着していません。あいさつの習慣があまりないのかもしれませんが。

児童の運営委員会でも、「あいさつあふれる高砂小学校」を目標にして、活動を始めたところです。子どもたちからも、自主的な動きが出ているのをうれしく思いました。

辻堂には「あいさつ通り」や「ニコニコロード」もあります。地域のみなさまにもご支援いただき、大人も子どももあいさつを交わしあう地区になったら、とも願っています。

高砂小学区地域の皆様

2022年12月

高砂小学校学校運営協議会
高砂小学区 PTA 本部代表委員



おはよう ボランティアさん 随時募集中!!

「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえりなさい」
藤沢市では小学生の登下校時に児童と挨拶を交わす団体や個人を募集しています。
できる日にできる場所で、あいさつなどの声掛けを通して地域全体で子どもたちを見守り、
子どもたちが安心して気持ちよく過ごせるよう活動します。

対象者：高砂小学区にお住まいの方・高砂小学校保護者

募集時期：随時 問い合わせ先：高砂小学校 (0466-36-5149)

※子どもたちの安全のため、おはようボランティアに登録をした上で活動を行います。
登録には身分証明書の提示を求める場合がございます。ご了承ください。
※活動時には、必ず腕に腕章をつけて活動いただきます。

地域全体で子どもたちを見守りながら、元気なあいさつの輪を広げていきましょう♪
たくさんのご応募お待ちしております。



お願ひが多くなりましたが、地域の学校として学校運営協議会の委員やPTA保護者のみなさまと教職員が連携し、地域のみなさまのご理解・ご協力をいただきながら、未来をつくる子どもたちの教育活動に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

(題字：南 英代 文責：東 麻子 高砂小学校)